

# 事務事業評価シート

(H.28)No.	4020-2	(H.27)No.	4020-2
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名	一般市道整備事業(道路河川室分)		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	道路河川室	谷本 浩司	

会計区分	事業コード	393502
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	一般市道整備事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路新設改良費	一般市道整備事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	2	市内道路網の整備
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
生活道路の整備を進め、快適な道路環境及び地域間の道路ネットワークの形成を図ります。
事業内容
市内全域から要望のある、地域内生活道路の局部改良や道路側溝等の整備を実施し、既存道路を活用しながら計画的に実施します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	事業内容		
主な事業の実績・計画	<H27現年度分> 市道改良(14路線) 97,287千円 ・工事 L=488m ・委託料(詳細設計 2路線 測量設計 8路線) ・補償費(水道施設損失補償) ・事務費 <H28への繰越明許費> 58,516千円 ・測量設計 5路線 ・工事 L=70m (市債58,500千円、一財16千円)	市道改良(7路線) 93,400千円 ・工事 L=690m ・委託料(詳細設計 4路線) ・事務費	H.29年度(事業計画)   H.30年度(事業計画)   H.31年度(事業計画) 市道改良 110,000千円   市道改良 110,000千円   市道改良 110,000千円 ・工事費   ・工事費   ・工事費 ・委託料   ・委託料   ・委託料		

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	
①直接事業費	97,287千円	93,400千円	110,000千円	110,000千円	110,000千円	
内訳(千円)	国・県支出金					
	地方債	92,600	93,400	110,000	110,000	110,000
	その他( )					
一般財源	(0) 4,687	0	0	0	0	
人工数	職員	1.00人	1.88人	1.88人	1.88人	1.88人
	臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 7,600千円	14,288千円	14,288千円	14,288千円	14,288千円	
①+②総事業費	(0千円) 104,887千円	107,688千円	124,288千円	124,288千円	124,288千円	

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
道路事業予算が年々減少している状況下、特に地域内生活道路等については部分的な改良など、柔軟な整備手法の採用が必要となっています。	地域などからの要望事業については道路環境等の内容を調査し、部分改良や待避所等有効な効果が発揮できる整備手法を協議・検討し事業の促進を図ります。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	事業効果について検証し、その結果に基づき、また、地域との連携により事業を厳選し、効率的な事業促進を図りました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	関係する組織や団体との連携により、引き続き安全な交通環境を確保するため、既存道路の改良を推進します。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
柔軟な整備手法について検討及び協議を行い、引き続き地域要望の道路整備を促進します。	